

## 情報公開文書

研究の名称	CD38抗体投与患者の輸血検査におけるGrifols sCD38の有用性
整理番号	R2024195
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 (血液内科) 准教授 和田 暁法
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 富山大学附属病院にて2024年10月から2027年12月に抗CD38抗体(ダラキユーロ、サークリサ)による化学療法を受け(最終投与から6ヶ月以内を含む)、診療目的に採血検査を行った患者さんが対象です。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 抗CD38抗体を使用している患者さんが赤血球輸血を行う際には輸血検査に特別な処理が必要となり、長時間を要します。今回新しい試薬でも同等の結果が得られ、簡便で時間短縮に寄与できることを証明することが目的となります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 観察研究であり、通院の際に行った採血検査の残りを使用して輸血検査を行い従来の方法と同等であるかを確認します。試薬の供与元である(株)カイノスに本研究で得られた結果を提供しますが、個人の特定に繋がる情報は含まれません。</p> <p><b>【研究期間】</b>2025年1月6日 ~ 2028年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会発表ならびに論文掲載を予定しています。</p> <p><b>【利益相反の状況】</b> (株)カイノスと共同研究契約を締結し、試薬の提供を受けます。また、富山県医師会より研究助成金を頂いています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療目的に採血された残りの血液を使用します。また、患者さんの年齢、性別、身長、体重、疾患名のカルテ情報を取得します。これら試料や情報については他機関への情報の提供は行いません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 (血液内科) 准教授 和田 暁法
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-2315 (内科外来 対応時間 平日9時-17時)</p> <p>FAX 076-434-5106</p> <p>E-mail wakino@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 (血液内科) 准教授 和田 暁法</p>